

染毛料としてのイカ墨の利用



北教大・イカ墨をイカし隊・工藤日依梨

はじめに

【どうしてイカ墨を利用するのか】

酸化染毛剤

- 利点：発色が良い・色が落ちにくい
- 欠点：毛髪へのダメージが大きい・アレルギー性を持つ

イカ墨を利用した染毛料

- 毛髪に含まれるメラニン色素で染めるから、
- 毛髪へのダメージを軽減
- 薬剤によるアレルギー性を防止

【イカ墨の利用に向けて】

発色の良さ・色の落ちにくさが必要

↓ どうしたら濃く染められるのか？

研究目的

『より良い発色となる条件を見つける』



イカ墨で髪の毛を染めてみる

【染毛料の用意】

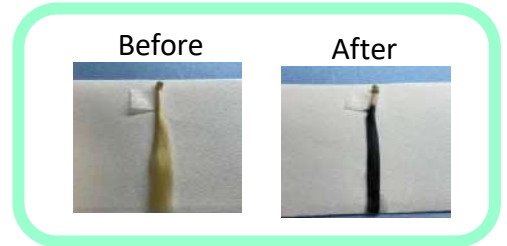
混合比率 (5パターン) × pH (6パターン) = 30パターン

【評価方法】

色の明るさをカラーメーターで測定



【実際の様子】

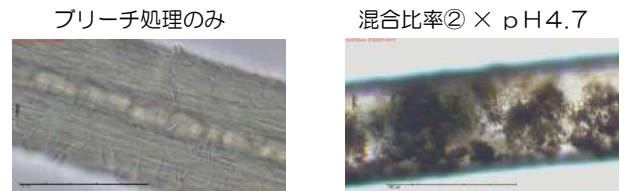


実験の結果

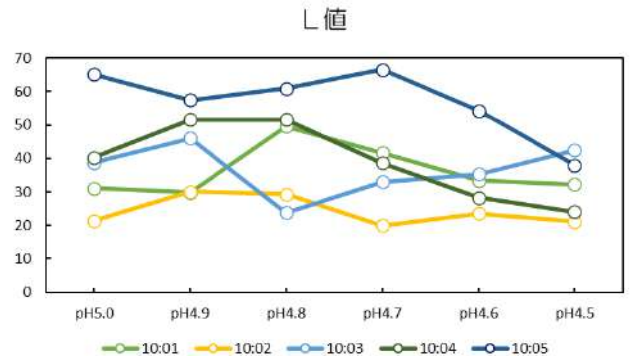
【染めた毛髪サンプルの写真】



【毛髪表面の写真】



【カラーメーターでの測定結果】



まとめ

現段階において、混合比率②が濃く染まりやすい傾向にあることや混合比率②×pH4.7が最も濃く染まることが判明した。
⇒イカ墨を利用した染毛料による、より良い発色が期待できる。